

令和6年2月14日

事業実施報告（栃木産業人クラブとの交流会）

栃木ブロック長 根本泰行

日時 令和6年2月13日 15:30～19:30

場所 ニューミヤコホテル足利

出席者 29名（栃木ブロック商議員5・他大学関係6・産業人クラブ13・県3・市2）

内容 15:30～17:20 第1部（講演会）

①テーマ「再生可能エネルギーの動向と研究事例」

根本 泰行（栃木ブロック長・足利大学教授）

②テーマ「汎用鋼の高機能化に関する最近の研究動向」

小林 重昭（栃木ブロック商議員・足利大学教授）

③テーマ「ロボット研究の動向とヒューマンロボティクス」

越智 裕章（栃木ブロック商議員・足利大学講師）

17:30～19:30 第2部（懇親会）

産業界との交流を図るため、栃木ブロックと栃木産業人クラブとの交流会を実施した。（栃木産業人クラブは、製造業から金融まで、中小から大企業まで、業種・規模を問わず約90社から構成される団体である。）

参加者は、産官学から計29名であった。（コロナ禍で3年ぶりの対面開催となった。）

交流会では、はじめに第1部として、産業人クラブからの要望（「カーボンニュートラル、機械加工、ロボットに関する講演をしてほしい」）に従い、3名の栃木ブロック商議員による講演が行われた。続いて第2部として、テーブルを囲んでの懇親会が行われた。

講演会では活発な質疑応答が行われ、また交流会内では栃木産業人クラブの菊地会長、宇都宮大学・池田学長、関東職業能力開発大学校・小野寺校長、足利大学・末武学長によるご挨拶などもあった。産業界の方々と情報交換を行うよい機会となったと考えている。

反省点としては、計画決定が遅れたためにブロック商議員の参加がやや少なくなってしまったことが挙げられる。次年度の栃木ブロックの事業案にも本交流会は含まれていることから、次年度は早めの計画をした上で実施すべきであると思われる。

以上